

四万十町

四万十町窪川B&G海洋センター



### 『 廃材で温めたプールです 』

- 活動時期 → 毎日
- 活動場所 → 施設内
- 主な活動メンバー  
ボイラー担当の職員（常時1名）

## ◆火の守り番が沸かす四万十町特有の温水プール

(取り組み内容)

### ◆廃材を燃やして、プールの水・室温を温める

窪川は冬になると寒いので温水のプールが欲しい！  
そこへ林業が盛んで、木の廃材の処理どこに困っていた窪川町が、最初から廃材の熱利用ができる施設としてB&G財団の資金で建設、運営しているのが窪川B&G海洋センター。

温水プール、プール内の室温、シャワーの熱源はすべて廃材を燃やして暖められた蒸気によるもの。重油で機械的に温めるのとは違い、必ず一人専属で火の守り番がいる。

昨年よりNPO法人くぼかわスポーツクラブが町の指定管理で運営している。

### 【利用者数】

通年利用の会員：約 80 名

水泳教室（3歳～）：のべ 400 名弱の生徒

### 【プールの広さ】

25mと小プール



窪川B&G海洋センター



温水プール



### ◆取り組みの手順

- ① 廃材を四万十町内外 10ヶ所の製材所より格安でわけていただく。  
(廃材がたまったら連絡もらい取りに行く)
- ② 製材所でもらった背板を半分に切り、手でくべる。(釜へは機械で)  
※このため一人専属で職員がつき火の管理が必要。
- ③ 午前中は焚きっぱなしで、5分に1回はくべる。  
(冬場は一日中くべる)
- ④ プールの温度は31℃に保つ。

※釜の周りに水が入っていて、それが温められ、その蒸気でプール、プール内の暖房、シャワーも温めている。

※一度火を止めるとプールの温度が下がり、下がると上げるのに大変なので、休業日(毎週月曜)もずっと焚き続けている。

### ◆廃材の価格

お付き合いもあり格安でわけてもらっている。  
以前は無料でもらっていたが、最近になって木質ペレットの廃材利用が増え、廃材にも価値がついて買い取る業者がでてきたため、現在の形となった。



製材所でもらった背板を半分に切り、手でくべていく。(釜へは機械で)  
このため一人専属で職員がつき火の管理



(平成21年8月現在)